

基調講演 2

「ブレクスピプラゾールを薬理作用から考察する」

福井大学精神医学講座講師

上野 幹二 先生

ブレクスピプラゾールは、2024年9月に本邦初となる「アルツハイマー型認知症に伴う焦燥感、易刺激性、興奮に起因する、過活動又は攻撃的言動」に適応追加となった。2018年に統合失調症の適応を取得し、2023年にうつ病うつ状態（増強療法）、そして今回新たに適応が追加された。3つの適応症を持った抗精神病薬ブレクスピプラゾールがどういう作用機序から効果を示すのか？薬理作用の観点から私なりに考察してみたいと思います。